

## 第3学年2組道徳科学習指導案

1 主 題 名 それぞれのよいところ〈A-(4)個性の伸長〉

2 教 材 名 三年元気組（光村図書 道徳3）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

個性とは、個人特融の特徴や性格であるといわれている。個性の伸長は、自分の長所を生かして、さらにそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。友達と互いの長所を見つけ認め合うことで、自分の個性への気付きにつなげていきたい。

(2) 児童の実態について

本学級は、男子を中心に元気がよく活発な児童が多く在籍している。一方、授業中に不適切な発言や自分勝手な態度をとる児童もいる。違いを認められず、相手を非難したり馬鹿にしたりすることもあり、互いに傷付け合ってしまうこともある。自分のよさや個性に気付くとともに、友達のよさにも目を向け、互いに認め合う気持ちを育てたい。

(3) 教材について

本教材は、自分には自慢するところがないと自信をもつことができない主人公が、友達や教師の助言によって励まされ、自信をもつという話である。「読書について話そう」と決めたときや高学年の本に挑戦しようとしたときの主人公の気持ちを考えさせることにより、人に認められることの喜びが自信をもつきっかけとなることに気付かせたい。また、後段で、友達と交流して互いの長所を認め合う活動を設定している。この活動を通して、自分の長所に気付き、人に認められる喜びを実感させることで、自分のよさをさらに高めたいという実践意欲につなげたい。

4 ねらい

- 自分や友達のよさや特徴に目を向け、互いの個性を認め合うことで、自分のよさや個性を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。

5 準 備 (教) ワークシート 人物絵 場面絵 よいところさがしプリント

6 指導過程

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
5 (5)	<p>1 本時のテーマを知る。</p> <p>△ 今、自分が頑張っていることはどんなことですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習</li> <li>・習い事</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     自分のよいところを見つけのぼしていくためには？                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家、学校、習い事など、様々な場面で、自分が頑張っていることや得意なことを発表させる。</li> <li>○ 「ない」と答える児童がいれば、教材文の主人公も同じであることを話し、本時のテーマに対する意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のよいところに気付いているか。 (観察)</li> <li>○ 本時のテーマをつかむことができたか。 (観察)</li> </ul>
20 (25)	<p>2 教材を読み、登場人物の気持ちや行動について話し合う</p> <p>(1) 教材を読み、あらすじをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師がゆっくり話を読む。</li> <li>○ 人物絵、場面絵を黒板に掲示し、あらすじをつかませる。</li> </ul>	

	<p>(2) 「ぼく」の気持ちを考える。</p> <p>△ ぼくはどうして、スピーチで話すことに迷っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>得意なことが何もないから。</li> <li>読書はただ好きで読んでいるだけだから。</li> </ul> <p>△ ぼくはどうして「読書」のことを、スピーチで話そうと決めたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんながほめてくれたから。</li> <li>先生が、好きなことを続けていくと自慢になると教えてくれたから。</li> </ul> <p>▲ ぼくが、高学年向けの本に挑戦したのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自信がついたから。</li> <li>もっと読書をしたくなったから。</li> <li>自分のよさを伸ばしたいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ぼく」が自慢出来ることはない、自信がもてずにいることに共感させる。</li> <li>○ ぼくが読書好きであることを押さえておく。</li> <li>○ 自分の長所を見つけられないぼくの心が、大きく変化した理由を考えさせる。</li> <li>○ 友達にほめられたときの、ぼくのうれしさに共感させる。</li> <li>○ 「好き」なことがあることも長所になることを押さえる。</li> <li>○ 友達に認められたことが、ぼくの自信につながり、挑戦する気持ちになったことを感じ取らせる。</li> </ul>	<p>友達を励ましたり認めたりすることが、相手の自信につながることに気付くことができたか。(発表・観察)</p> <p>人に認められる喜びが、自分のよさや個性を伸ばしていこうという意欲につながることを感じ取ることができたか。(発表・観察)</p>
<p>12 (37)</p>	<p>3 自分や友達のよさを見つける。</p> <p>(1) 友達の「よいところさがし」を行う。</p> <p>(2) 自分のよさを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4人か5人のグループにする。</li> <li>○ プリント内に記入してある項目の中から、友達のよいところを3つ選ばせる。</li> <li>○ グループの友達に記入してもらったプリントを見て、感想を伝え合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達のよさを見つけようとしているか。(観察・プリント)</li> <li>○ 自分のよさや個性に気付くことができたか。(観察・発表)</li> </ul>
<p>8 (45)</p>	<p>4 本時を振り返る。</p> <p>(1) 振り返りプリントに、本時の授業で分かったことや、考えたことを書く。</p> <p>(2) 金子みすゞ「みんなちがってみんないい」の詩を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数人の児童に発表させる。</li> <li>○ 教師が詩を朗読し、余韻をもって終わる。</li> </ul>	<p>友達と互いのよさを認め合うことで、さらに自分のよさや個性を伸ばしたいという意欲が高まったか。(振り返り・発表)</p>